

横浜市訪問看護師【小児看護】のキャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表【CDP2段階：一人立ち】

評価基準：各CDPの評価項目度とに、『未経験』の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする

- 評価の目安
- 1 『できない』
 - 2 『指示や確認がないと行動できない』
 - 3 『促しがあれば行動できる』
 - 4 『多少の促しは必要であるが行動できる』
 - 5 『できる』

能力	小項目	CDP2(訪問看護計画に基づき単独訪問でき、報告、連絡、相談ができる)	初回(月 日)			2回目(月 日)		
			未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価
		一人立ち						
【小児】看護サービスマス実践能力	在宅看護過程	小児領域に必要な知識を、対象となる子どもの看護に活用する						
		小児看護に必要な医学的管理(導尿、吸引、胃ろう、経管栄養、酸素療法、気管切開、人工呼吸器)の技術を看護計画に基づいて提供する						
		子どもの成長発達に合わせた個別的な看護計画を立案し、安全・安楽に配慮して実施する						
		看護実践の中で、子どもの成長発達を促す遊びを提供する						
		子どもが主体であるという倫理観を基に意思決定支援の判断を行い、チームで話し合う						
		子どもの理解度に合わせて説明・提案を工夫できる						
	社会資源	必要な看護を提供するために制度を検討する						
		先輩の助言のもと、在宅療養する子どもとその家族が利用できる社会資源につなぐ						
		在宅療養する子どもを支える関係者に、自らコミュニケーションをとる						
		先輩の助言のもと、必要時横浜型医療的ケア児・者等コーディネーターに相談ができる						
	家族支援	家族員(親・きょうだい児等)の発達段階とそれぞれの役割を把握し、アセスメントする						
		家族の発言や様子から、家族の思いやニーズを把握し、アセスメントする						
		看護計画に基づき、子どもと家族のライフスタイルや価値観を尊重して看護援助を提供する						
		在宅における子どもの医療的ケアや日常の世話を家族が習得できるよう、看護計画に基づいて支援する						
子どもの主体的な過ごし方とそれに対応する家族の生活について、母と父それぞれから話を聞いて、思いや考えを情報収集する								
きょうだい児の言葉や様子から、その子らしく過ごせているか把握する								
子どものケアと家族の生活のバランスにおける家族の葛藤から支援ニーズを把握する								
【小児】研究能力	自己啓発・自己学習	人権、倫理、権利擁護について学ぶ						

横浜市訪問看護師【小児看護】のキャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表【CDP3段階：一人前】

評価基準：各CDPの評価項目度とに、『未経験』の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする
 評価の目安 1 『できない』
 2 『指示や確認がないと行動できない』
 3 『促しがあれば行動できる』
 4 『多少の促しは必要であるが行動できる』
 5 『できる』

能力	小項目	CDP3(訪問看護計画が立案でき、状況判断に応じた24時間の対応ができる) 一人前	初回(月 日)			2回目(月 日)			
			未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価	
【小児】看護サービス実践能力	在宅看護過程	小児領域に必要な知識を、対象となる子どもの個別的な看護に応用する							
		子どもの体調変化を見極め、看護診断に基づいた医学的管理・必要なケアの提供ができる							
		「わたしの災害対策ファイル」を活用し、予期せぬ状況に備える							
		発達段階に応じた長期的な視点を持って個別的な看護計画を立案・修正・実施する							
		遊びの提供を通じて、子どもの状態や子どもが人とかかわる様子から、在宅で子どもらしく過ごせているかを把握する							
		子どもと家族の意思決定プロセスに参加して、看護師としての意見を伝える							
		子どもの様子から受け止め状況を判断し、子どもの意思表示を促す							
	社会資源	必要な看護を提供するために制度を活用し、関係者と調整する							
		子どもの今後の状況や発達を見据え、社会資源の必要性をアセスメントし、必要時に社会資源につなぐ							
		在宅療養する子どもを支える関係者に働きかけ、協力を求める							
		必要時、横浜型医療的ケア児・者等コーディネーターに相談ができる							
	家族支援	家族員がそれぞれの役割を果たし、家族として成長するのを支援する							
		子どもの変化や成長を家族と共有し、家族の関係・役割構築を支援する							
		子どもと家族のライフスタイルや価値観を尊重した看護計画を立案・実施する							
		子育ての方針や子どもと家族のQOL、急変時の方針について把握し、個別的な看護計画を立案・実施する							
		家族の強みと主体性を活かした具体的な解決策を提示する							
		子どもの主体的な過ごし方とそれに対応する家族の生活について、母と父の思いや考えの違いを把握し、家族機能が発展するように関わる							
		きょうだい児がその子らしく過ごせるように、在宅療養している子どもとともに発達・健康課題を意識して大切に関わる							
		その家族らしく過ごせるように、家族の認識や希望に基づいて支援する							
	【小児】教育研究能力	自己啓発・学習	他事業所と交流し、様々な支援方法や知識を得る						
			自身の看護実践を事例としてまとめ、報告できる						

横浜市訪問看護師【小児看護】のキャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表【CDP4段階：中堅】

評価基準：各CDPの評価項目度とに、『未経験』の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする
 評価の目安 1『できない』
 2『指示や確認がないと行動できない』
 3『促しがあれば行動できる』
 4『多少の促しは必要であるが行動できる』
 5『できる』

能力	小項目	CDP4(利用者の支援に関する環境整備やチーム作りができる)						
		初回(月 日)			2回目(月 日)			
		未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価	
【小児】 看護サービ ス実践能力	在宅看護過程	小児領域に必要な知識を、対象となる子どもの個別的な看護として後輩に指導する						
		将来を見据えて子どもにとって最善の看護(予防的ケア、セルフケアなど)を提案できる						
		あらゆる知見を動員し、全人的視点から子どものQOL向上に向けた看護計画を立案・修正・実施する						
		意思決定プロセスにおいて、揺れ動く子どもと家族それぞれの思いに寄り添い、子どもの意思を尊重し、家族とともに意思決定できるよう支援する						
		法的・文化的配慮など多方面から子どもと家族、その関係者を擁護し、意思決定方法を定める						
	社会資源	長期的視野を持って子どもの今後の状況や発達を予測し、必要時に社会資源の調整ができる						
		在宅療養する子どもを支える関係者の立場や役割を理解した上で、関係者との円滑な連携と協働を図る						
		横浜型医療的ケア児・者等コーディネーターと協働し、必要な社会資源につなぐ役割を果たす						
	家族支援	虐待や不適切養育など、特殊な課題や困難を抱える家族の関係調整・役割再構築を支援する						
		子どもと家族のライフスタイルや価値観を尊重した療養生活継続に向けて、医療・福祉・教育の関係職種でチームとなって支援する						
		療養生活継続において、家族の強みと主体性を活かせるよう、医療・福祉・教育の関係職種でチームとなって支援する						
		今後の状況を見据え、家族が子どもの成長発達の促しや医療的ケアの自己管理に向けた関わりができるよう支援する						
【小児】 究能力 教育研	自己啓発 ・自己学習	他事業所との交流などから得た知識等を自事業所での実践に反映できる						
		先行研究に照らし自身の看護実践を事例としてまとめ、研究として発表できる						

横浜市訪問看護師【小児看護】のキャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表【CDP5:達人】

評価基準:各CDPの評価項目度とに、『未経験』の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする
 評価の目安 1『できない』
 2『指示や確認がないと行動できない』
 3『促しがあれば行動できる』
 4『多少の促しは必要であるが行動できる』
 5『できる』

		初回(月 日)		2回目(月 日)				
能力	小項目	CDP5(訪問看護の質向上に関わり、リーダーシップをとることができる)	未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価
		達人						
【小児】看護サービスマス実践能力	在宅看護過程	「わたしの災害対策ファイル」を活用し、予期せぬ状況(子どもの急変、災害、有事)に備えるための地域のネットワークづくりを行う						
		対象者(子どもと家族)や関わる全ての人々の多様な価値観を受け入れながら、関係者間を調整し、倫理的問題を解決に導くことができる						
	社会資源	その子どもと家族らしい生活や社会活動が継続できる方法を模索して、必要時に社会資源の調整ができる						
		在宅療養する子どもを支える関係者の立場や役割を理解した上で、関係者との地域のネットワークを構築する						
		横浜型医療的ケア児・者等コーディネーターに準じ、他者や他事業所からの相談に応じる						
	家族支援	虐待や不適切養育など、特殊な課題や困難を抱える家族を多職種で支援する体制を構築できる						
		子どもと家族のライフスタイルや価値観を尊重した療養生活継続に向けて、地域での支援ネットワークを構築する						
		療養生活継続において、家族の強みと主体性を活かせるよう、医療・福祉・教育の関係職種との地域のネットワークを構築する						
		子どもと家族の自律に向けて、子どもの主体性を尊重した行動がとれるように家族を支援する						
	【小児】研究能力	自己啓発・自己学習	これまでの実践や現在の役割に必要な知識や技術を高めるために、新しい知見を得たり、積極的に外部と交流ができる					
後輩看護師の看護実践を研究としてまとめるプロセスの支援ができる								